

落合 範良

平政・公明党

能代港洋上風力発電事業の地元の関わり

【質】 国内初めての商業運転となる同事業で、秋田洋上風力発電株式会社では可能な限り県内企業を活用するとしているが、発電所の運転開始後のメンテナンス等において地元企業の関わりはどのようになるか。

【答】 令和4年末の運転開始後は、アクセス船の運航とメンテナンス業務に地元企業の参入が予定されており、引き続き、洋上のみならず陸上の風力発電事業者にも、建設及びメンテナンス時における地元企業の活用要請や、高校生を対象としたエネルギー産業次世代人材育成事業等の取組により関連産業を担う人材の育成等にも努めていく。

原木需要の増加に対する林業の振興策は

【質】 米代川流域森林・林業活性化協同組合が設置され、原木の安定供給と伐採後の再造林に向けた体制について民間で動き出しているが、原木需要増大に対する林業の振興策について市の考えは。

【答】 これまで低コストで安定的な原木の生産と流通を構築するため、林内の路網整備を積極的に進め、過去10年間で13路線、約23キロメートルの林道と林業専用道を開設しており、今後も進めていきたいと考えている。また、各種支援については今後も継続するとともに、国、県の動向を注視しながら必要な施策を検討していく。

その他の質問事項

- 次期市長選挙に向けての市長の思いは
- 4年度当初予算編成に当たり市長の考えは
- 旧崇徳小学校校舎の利活用

安井 英章

改革ネットワーク（市民の声、シリウス、日本共産党）

空き家対策で解体費用の積立て方式を

【質】 空き家解体のために積立て方式ができれば、事前に少しずつ積立てて、解体が必要な時に大部分の費用が捻出できると考えるが、行政主導でできないか。

【答】 個人資産の運用や財産の処分は所有者の責任において実施すべきものであり、空き家解体のための積立てを行政主導で行うことについては考えていないが、今後も空き家対策に有効となる先進事例の情報収集に努めていく。

洋上風力発電に打設音の少ない方式を

【質】 基礎工事で打設音に対する苦情が寄せられたが、工事の方式が様々ある。北九州市でジャケット式と重力式のハイブリット構造の実験が行われている。打設の必要のない方式に対する市の考えは。

【答】 基礎工事の打設音に係る打設音については、打設音を低減する騒音緩和装置等もあることから、市では、事業者に対して騒音低減の手法や打設工事の周知等について要望していくが、基礎構造については安全性、事業性等を勘案しながら事業者が決定していくものと考えている。

その他の質問事項

- 電気運搬船の実証実験施設を誘致できないか
- 電気式生ごみ処理機購入に補助できないか
- 改正食品衛生法の影響者に加工場の提供を

安井 和則

希望

二ツ井地域における水道設備の調査

【質】 生活環境の維持向上や地域の存続のためにも地域の水道状況をしっかり把握するため、二ツ井地域の新たな水道整備が必要かどうかの調査等について、速やかに実施する考えは。

【答】 水道組合や個人井戸等の現状を把握するため、早い時期に現在の水量、水質及び施設の状態や今後の水道整備に関するアンケート調査を実施したいと考えている。その上で、加入見込みや整備費等を考慮しながら、富根及び仁鮎の両地区簡易水道事業も含めた、今後の二ツ井地域における水道整備構想等の策定について検討していく。

今後の高齢者福祉の取組

【質】 65歳以上の人口が減少傾向にあることに対して、75歳以上は増加傾向にあることから、今後高齢者福祉に対する取組は重要になってくる。市はどのような施策に重点を置いているか。

【答】 高齢者福祉施策だけでは解決が困難な事例にも対応できるよう、地域社会とのつながりを構築していく重層的支援体制の整備に重点的に取り組む。また、元気な高齢者の生きがいづくりにつながるような通いの場への支援や、フレイル予防教室等に参加してもらえる仕組みづくりも、今後の高齢者福祉施策を進める上で非常に重要であると考えている。

その他の質問事項

- 新型コロナ感染症に関する事業者支援策
- 空き校舎や学校跡地の利活用
- 自治体DXの取組